

2022年2月15日

三井化学、アジア地区で初めてバイオマスフェノールを出荷

三井化学株式会社（東京都港区、社長：橋本修）は、この度、バイオマスフェノールをアジア地区で初めて出荷いたしました。当該製品は、昨年12月に当社大阪工場（大阪府高石市）に到着した NESTE 社のバイオマスナフサを利用した誘導品であり、ISCC PLUS 認証に基づいたマスバランス方式で各種プラスチック・化学品に割り当てバイオマス認証を付与したバイオマスフェノールとなります。

今後は、同方式で生産されたバイオマスアセトンなどの出荷も予定しています。

三井化学は、循環経済の実現に向け、化学品・プラスチックのリサイクルとバイオマス化の両輪を進めています。地球温暖化対策に貢献するバイオマス化は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて重要な戦略課題と捉えています。当社は、素材・プロセスの開発とともに、今回のバイオマスナフサ誘導品の初出荷を皮切りに、着実にバイオマスの社会実装を推進してまいります。



三井化学大阪工場



フェノールプラント

◆当社、取締役専務執行役員 芳野 正 コメント

この度、当社初の（※）バイオマス原料由来マスバランス方式によるバイオマスフェノールをお客様に出荷、納入出来たことをとても嬉しく思います。持続可能な社会への貢献は私たちのマテリアリティであり、皆さまとともに着実にバイオマスの社会実装を推進します。

※ご参考 当社リリース

11/24 ISCC PLUS 認証取得について https://jp.mitsuichemicals.com/jp/release/2021/2021_1124.htm

12/14 バイオマスナフサ到着について https://jp.mitsuichemicals.com/jp/release/2021/2021_1214.htm

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部

(TEL : 03-6253-2100、お問合せフォーム : https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja)